

市川市子育て支援に関するニーズ調査

アンケートにご協力をお願いします。

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

市川市では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実に努めるため、5年間の一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施しております。（令和2年度から令和6年度までの計画で実施中）

本調査は、令和7年度から始まる第3期計画の中で、確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市川市が算出するため、住民の皆様の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

調査結果につきましては、認定こども園や小規模保育の整備など子ども・子育て支援新制度に基づく施策の検討材料としても活用させていただきます。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年●月

市川市長 田中 甲

【いただいた回答は地域の子育て支援の充実に活かされます】



子ども・子育て支援新制度の考え方（参考）

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

■ご記入にあたっての注意点■

- ①この調査は、令和5年●月●日現在の状況でお答えください。
- ②質問中、「お子さん」とある場合には、《「お子さん」＝封筒の宛名のお子さん》としてお答えください。
- ③質問用紙に直接書き込んでお答えください。
- ④時間は 24 時間制（例：09 時、18 時など） で、数字は 1 つの口 に 1 字 でご記入ください。
- ⑤ご記入がすみましたら、
ア）千葉県市川市八幡1丁目1番1号 3階 市川市こども部こども家庭支援課
イ）同封の返信用封筒（切手不要）に入れて投函
のいずれかの方法により、令和●年●月●日（●）までにご提出ください。
- ⑥この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。
市川市こども部こども家庭支援課 電話：047-711-0677（直通）

1. お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

1 大柏地区	大町、大野町、奉免町、柏井町、南大野
2 宮久保地区	宮久保3～6丁目、北方町4丁目、東菅野4・5丁目、下貝塚
3 曽谷地区	曽谷、宮久保1～2丁目、国分1丁目、東国分、稲越1～3丁目
4 国分・国府台地区	堀之内、北国分、中国分、国府台、国分2～7丁目
5 市川地区	真間、市川、須和田2丁目
6 八幡地区	菅野、平田1・2丁目、須和田1丁目、八幡3丁目、東菅野1～3丁目
7 中山地区	八幡1・2・4～6丁目、北方、本北方、若宮、鬼越、中山、高石神
8 市川駅南地区	新田、市川南、平田3・4丁目、大洲、大和田
9 本八幡駅南地区	南八幡、鬼高、稲荷木、東大和田、田尻1・2丁目
10 信篤地区	田尻3～5丁目、田尻（1～5丁目以外）、高谷、高谷新町、原木、二俣、二俣新町、東浜、上妙典
11 妙典地区	妙典、下妙典、下新宿、本行徳、本塩、関ヶ島、富浜、塩焼、宝1丁目、幸1丁目、加藤新田、高浜町、河原
12 行徳地区	伊勢宿、末広、宝2丁目、幸2丁目、押切、行徳駅前、入船、日之出、湊、湊新田、湊新田1・2丁目、香取、福栄2丁目、千鳥町、新浜、塩浜1～3丁目
13 南行徳地区	欠真間、相之川、福栄1・3・4丁目、南行徳、新井、広尾、島尻、塩浜4丁目

2. お子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 お子さん（封筒の宛名のお子さんのことです。以下、全設問同じ）の生年月をご記入ください。（例 平成 27 年 01 月生まれ）

平成			年			月	生まれ
----	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	---	-----

問3 お子さんのきょうだいは何人いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いない	2. 1人	3. 2人	4. 3人	5. 4人以上
--------	-------	-------	-------	---------

問4 この調査票に記入されているのはどなたですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親	2. 父親	3. その他（ ）
-------	-------	--------------------------------

問5 この調査票に記入されている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる	2. 配偶者はいない
-----------	------------

問6 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親	2. 父親	3. 父母ともに	4. 祖父母	5. その他（ ）
-------	-------	----------	--------	--------------------------------

問7 あなたは、子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 楽しさの方が多い	2. どちらかといえば楽しさの方が多い
3. 楽しさと大変さは同じくらい	4. どちらかといえば大変さの方が多い
5. 大変さの方が多い	6. わからない



3. 子育て環境についてうかがいます。

問8 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問9 お子さんの子育てをするうえで、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか（いますか）。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. はい ⇒ 問10へ 2. いいえ ⇒ 問11へ

問10 問9で「1. はい」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族
2. 友人、知人、近所の人
3. 子育て支援施設、ファミリー・サポート・センター、NPO等
4. 学校の先生
5. 民生委員、児童委員
6. かかりつけの医院、医師、看護師
7. 子ども家庭支援センター窓口
8. こども発達センター
9. 教育センター
10. インターネットを利用した子育て相談(コミュニケーションサイト)
11. その他（ ）

問 1 1 子育てをするうえで、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

--

問12 親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場の利用について、お答えください。（新型コロナウイルスの5類への移行前後で、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。）

	新型コロナ ウイルス 5類移行前	新型コロナ ウイルス 5類移行後
(1) 感染症（新型コロナウイルス等）の影響によらず、利用していない	1	1
(2) 感染症（新型コロナウイルス等）の影響により、現在は利用していない	2	2
(3) 市民の子育てひろば	3	3
(4) NPO法人などが運営している子育てひろば	4	4
(5) 学童クラブ室を活用した子育てひろば	5	5
(6) 民間学童保育施設の子育てひろば	6	6
(7) その他	7	7

問13 新型コロナウイルス感染症の影響について、あなたの状況にそれぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

A 収入	1. 増えた	2. 減った	3. 変化はない
B 支出	1. 増えた	2. 減った	3. 変化はない
C 勤務日数や勤務時間 (休日出勤や残業など)	1. 増えた	2. 減った	3. 変化はない
D 子どもと過ごす時間	1. 増えた	2. 減った	3. 変化はない
E 自分の時間	1. 増えた	2. 減った	3. 変化はない
F 家にいる時間	1. 増えた	2. 減った	3. 変化はない
G 家族との会話	1. 増えた	2. 減った	3. 変化はない
H ストレスや不安な気持ち	1. 増えた	2. 減った	3. 変化はない

問14 子育てに関する情報をどこから入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族
2. 友人、知人、近所の人
3. 子育て支援施設、ファミリー・サポート・センター、NPO等
4. 認定こども園
5. 保育所
6. 幼稚園
7. 保健センター（保健師、管理栄養士、歯科衛生士等）
8. 母子保健相談窓口アイティ（保健師、看護師）
9. 民生委員、児童委員
10. かかりつけの医院、医師、看護師
11. 子ども家庭支援センター窓口、子育てナビ
12. こども発達センター
13. インターネットを利用した子育て相談(コミュニケーションサイト)
14. 市川市の子育て関連情報誌
15. その他の冊子、雑誌など
16. 市川市公式ホームページ
17. 市川市公式アカウント（Twitter、Instagram）
18. Twitter（市川市公式アカウント以外）
19. Instagram（市川市公式アカウント以外）
20. Tiktok、Youtube 等の動画共有サイト
21. その他（【例】ベビーシッター）
22. 特にない

問15 子育てに関するどのような情報を入手したいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。（事業の詳細は別紙をご覧ください）

1. 教育・保育事業（幼稚園・保育所等の入園に関することも含む）
2. 妊婦健診
3. 病院（産科）、助産士等
4. 乳幼児健診、予防接種等
5. プレ親学級等、保健センターでの育児や健康に関する講座・相談
6. 病院（小児科）、休日当番医等
7. 子どもに関する手当（児童手当、医療費助成等）
8. 子育て支援センター、つどいの広場、こども館等
9. 一時預かり、ファミリー・サポート・センター等
10. 健康・発達
11. 食事・栄養
12. 歯科・口腔
13. 小学校
14. 放課後保育クラブ等
15. その他（ ）

問16 子育て応援アプリ 「いちかわっこアプリ」を知っていますか。また、利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※いちかわっこアプリ・・・忙しい子育て中のお母さん、お父さんが手軽に利用できる子育て応援アプリ予防接種スケジュールも簡単に立てられます。子どもの身長や体重を入力して、成長をチェックする機能もあります。
子どもの遊び場から各種手続きまで、子育てに関する情報も載せています。

- | | | |
|-----------|-------------------|---------|
| 1. 利用している | 2. 利用はしていないが知っている | 3. 知らない |
|-----------|-------------------|---------|

4. お子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問 17 この1年間に、お子さんが病気やケガで小学校を欠席したことはありますか。

1. あった ⇒ 問18へ 2. なかった ⇒ 問21へ

問18 お子さんが病気やケガで小学校を欠席した場合に、この1年間に行った対処方法ごとの日数（おおよそ）を《回答の選択肢》から選び数字でご記入ください。

《回答の選択肢》※選択肢4の日数を超える場合は日数を数字で記入してください。

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 1~2日 | 2. 3~4日 | 3. 5~6日 | 4. 7~8日 |
|---------|---------|---------|---------|

1年間の対処方法	日数（年間） （上記選択肢より）
ア. 父親が休んだ	
イ. 母親が休んだ	
ウ. 親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった	
エ. 父親又は母親のうち自宅にいる方が子どもをみた	
オ. 病児・病後児の保育を利用した	
カ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	
キ. その他（ ）	

問１９ 問１８で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。（利用料あり、事前にかかりつけ医の受診が必要）

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい
2. 利用したいと思わない

問20 問19で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他人に看てもらうのは不安 2. サービスの内容に不安がある 3. 立地や利用可能時間・日数がよくない 4. 利用料がかかる・高い	5. 利用料がわからない 6. 親が仕事を休んで対応する 7. その他 ()
--	--

※病児・病後児保育

子どもが病気になった際に、病院・保育所等に付設された専用スペース等において一時的に保育する事業。現在、市川市においては病気回復期にある場合の病後児保育を実施しています。

子どもが病気になった際に、病院・保育所等に付設された専用スペース等において一時的に保育する事業。現在、市川市においては病気回復期にある場合の病後児保育を実施しています。

5. お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について うかがいます。

問21 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等を目的としたお子さんを預ける事業を、現在どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。この1年間の事業ごとの利用日数（おおよそ）を「A欄（現在）」に、希望する利用日数（おおよそ）を「B欄（希望）」に、《回答の選択肢》から選び数字でご記入ください。（利用料は17ページを参照）

《回答の選択肢》※選択肢5の日数を超える場合は日数を数字で記入してください。
1. 0日 2. 1～5日 3. 6～10日 4. 11～15日 5. 16～20日

事業	利用日数（年間） （上記選択肢より）	
	A欄（現在）	B欄（希望）
ファミリー・サポート・センター（※）		
こどもショートステイ事業（※）		
その他（ ）		

問22 問21の目的で、お子さんを預ける事業について、どのような目的で利用したいと思いますか。目的ごとの利用希望日数（おおよそ）を問21の《回答の選択肢》から選び数字でご記入ください。

	日数（年間） （問21の選択肢より）
私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	
冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	
不定期の就労	
その他（ ）	

※ファミリー・サポート・センター

育児の支援をしたい会員、育児の支援を受けたい会員、両方を利用したい会員を組織化し、子育てに関する人と人との相互援助活動として、保育所・幼稚園・放課後保育クラブへの送迎・送迎後の預かり等のサポートを行います。

※こどもショートステイ事業

市内の母子生活支援施設 国府台母子ホームで子どもを預かる事業です
夜間養護：18時～22時 休日養護：7時～18時の間で概ね8時間

問23 問21のA欄で全ての項目について「1.」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	6. 自分が事業の対象者になるのかわからない
2. サービスの内容に不安がある	7. 利用方法（手続き等）がわからない
3. 立地や利用可能時間・日数がよくない	8. その他
4. 利用料がかかる・高い	()
5. 利用料がわからない	

問24 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。 短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を数字でご記入ください）。なお、事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい		計 泊
	ア 冠婚葬祭	泊
	イ 保護者や家族の育児疲れ・不安	泊
	ウ 保護者や家族の病気	泊
	エ その他 ()	泊
2. 利用する必要はない		

6. お子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問25 お子さんについて、放課後の時間を現在どのような場所で過ごさせていますか。また希望としてはどのように過ごさせたいですか。現在の状況をA欄に、希望をB欄に（現在の状況と同じ場合には記載不要です）、それぞれの内容ごとに1週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後保育クラブ」については利用を希望する時間も数字でご記入ください（記載例：下校時から18時まで）。

	A欄（現在の状況）	B欄（希望） ※現在の状況と異なる場合のみ記入
1. 自宅	週 日くらい	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい	週 日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、学習塾など）	週 日くらい	週 日くらい
4. こども館（※）	週 日くらい	週 日くらい
5. 放課後こども教室（※）	週 日くらい	週 日くらい
6. 放課後保育クラブ（※）	週 日くらい →下校時から 時まで	週 日くらい →下校時から 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 日くらい	週 日くらい
8. その他 （公民館・公園など） （放課後等デイサービス）	週 日くらい	週 日くらい

問26へ

※こども館（児童館）

赤ちゃんから高校生まで、18歳未満の市民なら誰でも遊ぶ事ができる施設です。利用料はかかりません。

※放課後子ども教室

学校施設などを利用した子どもの居場所です。地域の人々とのふれあいや異年齢交流による生活体験を通して、子どもの健全な育成を図ります。子どもたちはスタッフが見守る中、いろいろな遊びをします。保護者の就労の有無にかかわらず、すべての小学生が利用でき、利用料はかかりません。

※放課後保育クラブ（学童保育）

保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、支援員の下、子どもの生活の場を提供するものです。小学1～6年生が対象です。（利用料は17ページ参照）

問26 問26～28は、問25で「A欄（現在の状況）」または「B欄（希望）」で「6. 放課後保育クラブ（学童保育）」に日数を記入した方にうかがいます（それ以外の方は問29へお進みください）。お子さんについて、放課後保育クラブを何年生まで利用したいですか。利用したい学年を数字でご記入ください。

小学校		年生まで
-----	----------------------	------

問27 お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後保育クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、利用したい時間帯を数字でご記入ください。（記入例：09時から18時まで）

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇒ 利用したい時間帯 時 から 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇒ 利用したい時間帯 時 から 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

（3）夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇒ 利用したい時間帯 時 から 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

問28 放課後保育クラブ（学童保育）の前後・または送迎のために、ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）を利用していますか。また利用したいと思いますか。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください。

（1）現在利用していますか。

- 1. ほぼ毎日利用している
- 2. 週に数日利用している → 1週当たり 日程度
- 3. 月に数日利用している → 1月当たり 日程度
- 4. 利用していない

（2）利用したいと思いますか。

- 1. ほぼ毎日利用したい
- 2. 週に数日利用したい → 1週当たり 日程度
- 3. 月に数日利用したい → 1月当たり 日程度
- 4. 特に利用したいと思わない

問29 すべての方におうかがいします。小学生の子どもが、家で一人もしくは、きょうだいで過ごす事に不安を感じますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. 感じる
- 2. 感じない



7. お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問30～問32までの共通注意点

- ・「フルタイム」＝1週5日程度・1日8時間程度の就労
「パート・アルバイト等」＝「フルタイム」以外の就労
としてお答えください。
- ・父子家庭の場合の「母親」の欄、母子家庭の場合の「父親」の欄の記入は不要です。
- ・問6で「4. 祖父母、5. その他」に○をつけた方は、「(3)その他」に記入してください。

問30 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------------|------------|
| 1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | } ⇒ (1)-1へ |
| 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | } ⇒ (1)-2へ |
| 6. これまで就労したことがない | |

(1)-1 (1)で「1～4」に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻、帰宅時刻を数字でご記入ください。就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（時刻の記入例：09時、18時）

1週当たり	日	1日当たり	時間
家を出る時刻	時	帰宅時刻	時

(1)-2 (1)で「5.」「6.」に○をつけた方にうかがいます。3か月以内に就労することが決まっていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) 父親 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない	⇒ (2)-1へ
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	⇒ (2)-2へ
6. これまで就労したことがない	

(2)-1 (2)で「1～4」に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻、帰宅時刻を数字でご記入ください。就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（時刻の記入例：09時、18時）

1週当たり	日	1日当たり	時間
家を出る時刻	時	帰宅時刻	時

(2)-2 (1)で「5.」「6.」に○をつけた方にうかがいます。3か月以内に就労することが決まっていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(3) その他 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない	⇒ (3)-1へ
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	⇒ (3)-2へ
6. これまで就労したことがない	

(3)-1 (3)で「1～4」に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻、帰宅時刻を数字でご記入ください。就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（時刻の記入例：09時、18時）

1週当たり	日	1日当たり	時間
家を出る時刻	時	帰宅時刻	時

(3)-2 (1)で「5.」「6.」に○をつけた方にうかがいます。3か月以内に就労することが決まっていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. はい

2. いいえ

問31 問30の(1)～(3)で「3.」「4.」に○をつけた方にうかがいます。(それ以外の方は、問32へお進みください。)

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(3) その他

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問32 問30の(1)～(3)で「5.」「6.」に○をつけた方にうかがいます(それ以外の方は、問33へお進みください)。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子が□□歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム

イ. パートタイム、アルバイト等

→1週当たり□日 1日当たり□□時

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子が□□歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム

イ. パートタイム、アルバイト等

→1週当たり□日 1日当たり□□時

(3) その他

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2. 1 年より先、一番下の子が□□ 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム

イ. パートタイム、アルバイト等

→1 週当たり□□ 日 1 日当たり□□ 時

8. お子さんのご本人へのアンケート

問33 この質問はお子さんご本人に回答してもらってください。（お子さんが低学年の場合には、保護者の方が質問文の説明など、回答の補助をしてください。）

あなたは、学校の授業が終わった後（放課後）や学校のない日（土・日・夏休みなど）の自由な時間を過ごす時、どんなところで過ごしたいですか。（学校がある日とない日でそれぞれ3つまで回答できます。）

1. 学校の校庭
2. 学校の体育館や教室
3. 屋外のスポーツ施設（サッカーコートや野球場など）
4. 屋内のスポーツ施設（バスケットボールコートなど）
5. 自由に遊べる広場
6. 遊具のある公園
7. 動物、昆虫、草花などの自然があるところ
8. 図書館
9. 友だちとゆっくりくつろいだり、のんびりできる場所
10. 音楽を聞いたり、楽器をひいたりできる場所
11. 静かに勉強のできる場所
12. カラオケボックスやゲームセンター
13. デパートやスーパーなどのショッピングセンター
14. 自分の家
15. 友だちの家
16. その他（

	学校がある日			学校がない日		
かいとうらん 回答欄						

●. 児童虐待について

問34 『児童虐待』には4つの種類があります。知っている番号すべてに○をつけてください。

※身体的虐待・・・殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる、首を絞める、縄などにより一室に拘束すること。

※性的虐待・・・児童にわいせつな行為をすること又は児童をしてわいせつな行為をさせること。

※ネグレクト・・・児童の心身の正常な発達を妨げるような著しい減食又は長時間の放置、保護者以外の同居人による虐待行為と同様の行為を放置、その他保護者としての監護を著しく怠ること。

※心理的虐待・・・児童に対する著しい暴言又は著しく拒絶的な対応、児童が同居する家庭における配偶者に対する暴力、その他の児童に著しい心理的外傷を与える言動を行うこと。

1. 身体的虐待
2. 心理的虐待
3. 性的虐待
4. ネグレクト

問35 『児童虐待』の通報は下記のところにできます。知っている番号すべてに○をつけてください。

1. 児童相談所
2. 警察
3. 市川市の子ども家庭支援センター（こども家庭支援課）
4. 知らない

問36 『児童虐待』の通報は、「虐待の疑いがあると思う」でもできることを知っていましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

問37 通報をしても、通報者が特定されないよう配慮されることを知っていましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

問38 児童虐待防止のために、どれが最も有効であると思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 児童相談所や市役所等の行政の人員を充実させたり、権限を強めるなどの業務の強化をする
2. 地域で支え合うため、地域で住民相互の関わりを深める取り組みを行う
3. 「児童虐待の疑いがあれば通報する」という意識を持つ
4. 保育園、学校、医療機関等による早期発見を徹底する
5. 子育てが大変な世帯への養育や家事手伝い等の支援策を拡充する
6. その他（ ）

問39 児童虐待防止のために、あなた自身何ができると思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. あいさつや声かけを心掛ける。
2. 『児童虐待』に関する情報の周知等の啓発に協力する
3. 子育て支援団体の活動に協力する
4. その他（

9. 総合

問４０ すべての方にうかがいます。市川市の子育て支援施策に対する「満足度」をおうかがいします。下記の①～⑥のそれぞれ、および「子育て支援施策の総合評価」について、どの程度満足されているか、当てはまる番号１つに○をつけてください。

項目 \ 評価	大変満足	ほぼ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
(記入例)	5	④	3	2	1
①子育てに関する情報提供・相談の充実	5	4	3	2	1
②放課後保育クラブの充実	5	4	3	2	1
③多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービス（病児保育等）の充実	5	4	3	2	1
④子どもが安心して遊べる場の充実	5	4	3	2	1
⑤子育て家庭への経済的支援の充実	5	4	3	2	1
⑥小児救急医療の充実	5	4	3	2	1
子育て支援施策の総合評価	5	4	3	2	1

問4 1 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

ア) 千葉縣市川市八幡1丁目1番1号 3階 市川市こども部こども家庭支援課

イ) 同封の返信用封筒（切手不要）に入れて投函

のいずれかの方法により、令和●年●月●日（●）までにご提出ください。

【参考：子育て支援事業にかかる利用料の概要】

(1) ファミリー・サポート・センター

区分	お礼の基準の額
月～金曜の午前7時～午後8時まで	500円／1時間
土日祭日及び年末年始並びに上記以外の時間	600円／1時間

(2) 休日養護・夜間養護・こどもショートステイ事業（短期入所）

区分	一般世帯	市民税非課税世帯
休日養護	1,400円	350円
夜間養護	800円	350円
短期入所 2歳以上	2,850円	1,100円

(3) 放課後保育クラブ

○児童1人当たり月額8,000円

○同一世帯で、複数利用する場合、2人目から4,000円